

宗谷管内漁業士会報



舵

【宗谷管内漁業士会事務局】

宗谷支庁産業振興部水産課水産振興係
〒097-8558 稚内市末広4丁目2番27号
TEL: 0162-33-2516 (内線2641)
FAX: 0162-33-2632

第 7 号

平成18年5月31日

平成17年度 宗谷管内漁業士会総会開催

去る平成18年2月2日、宗谷支庁合同庁舎4階大会議室において、平成17年度宗谷管内漁業士会総会を開催しました。

- 議事(1) 平成17年度事業報告及び決算報告
について
- 議事(2) 平成18年度事業計画(案)及び
収支予算(案)について
- 議事(3) 会報誌「舵」第7号について
- 議事(4) 第10回オホーツク・太平洋会議に
向けた最終確認について
- 議事(5) その他

【平成18年度事業計画について】

自己研鑽及び管内漁業士間の連携はもちろんのこと、他地区の漁業士との交流を深め、連携を密にすることを目的に「各種会議、行事等への積極的参加」を中心に事業を実施していきます。

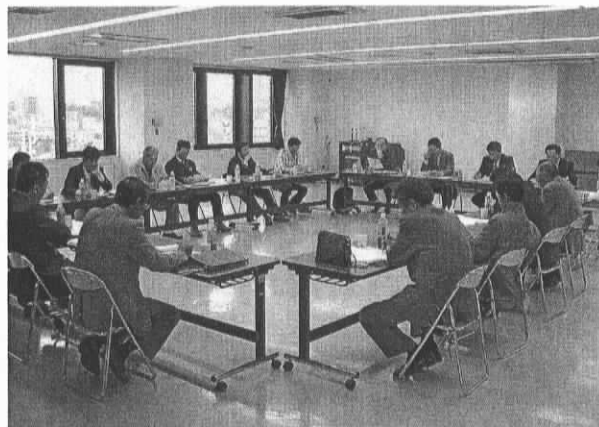
また、管内漁協青年部連絡協議会との連携や水産指導所が実施する各種普及事業への協力を行っていきます。

更に平成18年度は、2月18日に宗谷管内初めての主催による第10回オホーツク太平洋会議を控え、関係機関等とも連携の上、開催に向け最終調整を進めていきます。

【第10回オホーツク太平洋会議の実施に向けて】

平成18年2月18日開催の第10回北海道漁業士会オホーツク・太平洋会議の開催に向けて、4回にわたる実行委員会を開催し、準備を進めて参りました。

今回の総会では、開催直前ということもあり、会議当日の詳細な進行方法や来賓の対応等、会議の成功に向けたより詳細な事項について確認を行いました。



【その他】

管内に女性漁業士がいないため、今後の推薦について、関係機関とも連携を図り、積極的に取り組む旨を確認しました。

漁業士通信

●漁業士の認定について

平成17年5月27日稚内漁業協同組合の石川正雄氏が名誉漁業士として北海道漁業士会会長から認定され、平成17年度宗谷管内漁業士会定例会において認定証の授与が行われました。



第10回 北海道漁業士会オホーツク・太平洋会議開催

●日時 平成18年2月18日(土) 13:00～ ●場所 ホテル豊富

基調講演① 『北海道の魚を食べて健康に!』

貫田 桂一氏 (ホテルクラビーサッポロ料理長)

基調講演② 『浜のかあさんと食育』

新谷 恭子氏 (北海道漁協女性部連絡協議会会長)

パネルディスカッション『テーマ：食育の推進と魚食普及について』

＜コーディネーター＞：西 英司氏 (道漁連常務理事)

＜パネリスト＞：貫田 桂一氏、新谷 恭子氏、加藤 久雄氏 (内閣府食品安全委員会事務局 課長補佐)、淡路 則子氏 (浜頓別町学校給食センター 管理栄養士)、佐々木 修氏 (鴛泊漁協 青年漁業士)



◎第10回北海道漁業士会オホーツク・太平洋会議に出席して

頓別漁業協同組合 青年漁業士 和田 清人

オホーツク・太平洋会議開催地、地元豊富町へ、悪天候の中車を走らせる。遠く根室、釧路、十勝、網走から集まって頂いた、漁業士の方々に厚く感謝致します。

宗谷管内漁業士会河島会長の挨拶に始まり、来賓の挨拶の後、講演が始まりました。ホテルクラビーサッポロ料理長 貫田桂一氏の講演の中で、この素晴らしい自然環境に恵まれた北海道の、海の幸と山の幸が交わって素晴らしい料理になり、同じ食材でも生産地の環境で味が違う事を知らされました。これは、同じ物でも、味で地域ブランドが出来るヒントになるのではないのでしょうか。

そして、北海道漁協女性部連絡協議会 新谷恭子会長の女性部と、藤女子高等学校の生徒達との魚の料理教室をはじめ、青年部の販促活動の報告等から、我々現場に携わる者が、いかに家庭の食卓に魚食を浸透させることができるかが課題だと認識いたしました。

パネルディスカッションでは、子供を持つ私も身を乗り出して聞き入ってしまうほど、興味深い内容でした。特に、浜頓別町学校給食センター管理栄養士淡路則子さんが、今時の小中学生の食事情について説明していましたが、私も同じ世代の子供がおりますので事例を補足します。まず、食事をする姿勢です、肘をついて背中を丸め、口をクチャクチャならして箸は握って持ち、テーブルには落とした物で散乱しております。私達は、親から厳しく食事のマナーを叩かれながら教わりました。しかし、今の親は教えません。箸の持ち方ですら教えません。握ったままの箸で、魚を上手に食べられますか？河島会長もお話されましたが、これは学校で教える事ではありません。親や家庭が教える事です。学校の先生は注意したいのです。しかし、親からの抗議が心配で注意出来ないのです。どこか、今の親はおかしいと私も思います。佐々木漁業士が親に魚の料理方法を教えるよりも、次の世代に託したほうが、早く魚食普及が進むかもしれないと言われたことに、我ながら反省致しました。これは、都会の事ではなく、私たちの小さな田舎町の身近な事なのだ。まず、自分の周りから魚食普及活動をしなければ、骨の無い魚が我々の食卓に上る日は遠くないと思いました。果たしてそれで良いのか！

根室管内漁業士会水口会長が、肉食中心の近隣諸国の平均寿命は50歳、と言われましたが、わが国もそうならないよう、私達漁業士も魚食普及の為、アイデアを出して頑張ろうと思った大会でした。

枝幸漁業協同組合 青年漁業士 戸田 吉和

平成18年2月18日、第10回北海道漁業士会オホーツク・太平洋会議は私たち宗谷支庁管内漁業士会が初めて主催する中、ホテル豊富にて、多数の出席者を迎え無事に開催されました。会議は、河島会長、来賓の挨拶、貫田シェフ、新谷道女性連会長の基調講演、休憩を挟んでパネルディスカッションへと進みました。いずれも今回の会議のテーマ「食育の推進と魚食普及について」に関連した講演、また意見交換が行われました。その中、共通の話題になったのが、箸を正しく持つことができない若親、子供が多いこと、魚料理が敬遠されがちであるということでした。

平成17年に食育基本法が成立、施行されている中でいかに今回の会議テーマ「食育の推進と魚食普及」が重要性を増しているか再認識させられた会議になりました。

今回の会議、交流会は私にとって大変有益なものとなりました。



新認定漁業士の紹介



石川 正雄 (平成17年度認定)

●主な漁業

ほっき貝漁業 (噴流式けた曳き)、鮭定置漁業 (3ヶ統共同経営)

●活動の履歴

旧豊富町漁協理事 14年、旧豊富町漁協組合長 6年
稚内漁協理事 7年

認定されて、意気込みを一言

限りある前浜資源の強化と、未利用資源の有効活用に、関係機関との連携を図り積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、過去の道外研修会では鹿児島県の漁業士のもとを訪れ、ウニ、アワビ漁業の実態を学んだり、最北の地での漁業実態など情報交換を行い、大いに交流を深めました。

今後も、他の地域との交流を大切に、様々な知識や技術を取り入れていきたいと考えています。

名誉漁業士に認定されてからも、引き続き指導漁業士としての経験を生かし、地域漁業のレベルアップに努めていきたいと考えています



瀬川 信幸 (平成16年度認定)

●主な漁業

ホッケ刺網、タラ漁業、コンブ漁、ウニ漁

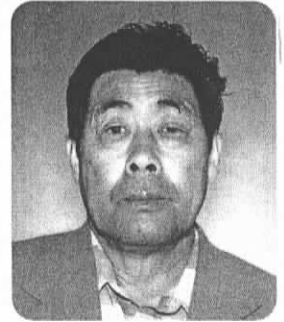
●活動の履歴

香深漁協総代、漁業権管理委員、香深漁協理事

認定されて、意気込みを一言

若い頃は血気盛んで、周囲をアッ！と驚かせるようなことをしでかしてきましたが (ちなみに今は温厚なやさしいお父さんです……)、長いあいだ礼文で努力してきた甲斐もありまして、多くの若い漁師たちが慕ってきてくれるようになりました。

指導漁業士として認定された今、経験豊かな先輩として、後輩漁師たちに自分の技術や知識を伝え、礼文の漁業をさらに活気あるものにしていきたいと考えています。

指導漁業士紹介**猿払村漁協 鑑漁業士****プロフィール**

- 名 前 鑑 久 夫 ○生 年 月 日 昭和17年6月26日
- 漁業経験年数 48年 ○漁業士認定年 平成11年度
- 得意な漁業 ほたてがいかれた網漁業、たこ箱漁業、ます小型定置網漁業、さけ定置漁業、かれい刺網漁業、たこいさり漁業
- 家 族 妻、娘2人の4人家族
- 趣 味 海釣り、パチンコ、パソコンゲーム
- その他（活動履歴等）

猿払村ほたて共同企業体運営委員会副委員長、たこ部会長、開発期成会副会長、船頭会会長、海難救済会救助長 等

わたしの自慢ばなし

昭和32年当時小学校を卒業した私は、動力船を持っている人が少ない中で動力船を手に入れ、宗谷漁協の知人の協力を得て、猿払村で初めて「たこいさり漁業」を始めました。

失 敗 談

昔は漁業以外に運送会社や設備会社を立ち上げましたが、失敗に終わりました。その後も事業の誘いはありましたが、家族のことを考えて断り、漁業一筋で今に至っています。

これからの抱負(あるいは取り組んでいこうとしていること)

引退して船は降りましたが、たこいさりやかれい刺網等、家族でやれる漁業を続けていきたい。また、「兄」と呼んで慕ってくれる後輩たちのために、経験を生かした指導に取り組んでいきたいと思います。

青年漁業士紹介**枝幸漁協 戸田漁業士****プロフィール**

- 名 前 戸 田 吉 和 ○生 年 月 日 昭和40年10月1日
- 漁業経験年数 21年 ○漁業士認定年 平成5年度
- 得意な漁業 なまこ桁網漁業、うに漁業、定置漁業
- 家 族 妻、娘、息子、母、妹
- 趣 味 サッカー（現在少年団コーチング中）
- その他（活動履歴等）

うに生産部会会長、総代、稚うに連合会支部長、昆布値決め委員

わたしの自慢ばなし

趣味でサッカーと書きましたが、高校時代、全道大会で初の1勝をしたときの主将でした。

失 敗 談

昨年5月、ギックリ腰になったにも関わらず、うに漁に出て、岩場で動けなくなったことがありました。

これからの抱負(あるいは取り組んでいこうとしていること)

資源管理などに取り組んでいきたいと思っています。